

科目名	平面造形演習		Subject	Surface Modeling Practice		
サブタイトル	さまざまな絵具の特質の理解、およびそれらを用いた平面作品の制作					
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」			
開講年次	開講時期	必修／選択	美容芸術		社会実装	
1 年	後期	必修				
授業形態	単位	時間				
演習	4 単位	60 時間	◎			
ゲストスピーカー招聘回	なし					
教員名	栗本 佳典		メールアドレス	yoshinori.kurimoto・・・		
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】					
実践的教育	×					
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。					

科目の概要								
絵画作品に用いられる水彩絵具や油絵具、アクリル絵具を用いて平面作品を制作します。それぞれの絵具の特質や魅力を知り、一つの作品にしっかりと時間をかけて制作を行います。授業を通して造形力や応用力を高め、創意工夫する力や表現力を身につけることによって修了研究への土台とします。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	-	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
美容芸術	平面作品の制作を通して造形力や応用力を高めることによって質の高い作品を制作することができる。また、創意工夫する力や表現力、プレゼンテーション力を身につけることで、自分らしい作品を制作できると同時に自己の作品を客観的に評価することができる。							
教科書・教材								
教科書	なし							
参考文献	アトリエ美術技法百科（油彩画）/美術出版社、アトリエ美術技法百科（アクリル画の色彩技法）/美術出版社							
各自準備教材	なし							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
-	-	-	-	-	-	80%	20%	-
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
個別に実地指導を行います。								
履修上の条件・注意								
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション	さまざまな平面作品の材料や技法があることを知り、識別することができる。	画集やネットを見てさまざまな平面作品の材料や技法について調べる。	240 分
第 2 回	鉛筆淡彩① 技法解説	鉛筆淡彩の技法を知り、説明することができる。	画集やネットを見て鉛筆淡彩の材料や技法について調べる。	240 分
第 3 回	鉛筆淡彩② 鉛筆描画（基本構造）	鉛筆で対象物の基本構造を正しく描くことができる。	前回の続き	240 分
第 4 回	鉛筆淡彩③ 鉛筆描画（形と明暗）	鉛筆で対象物の形や明暗を正しく描くことができる。	画集やネットを見て鉛筆淡彩作品における表現方法や効果について調べる。	240 分
第 5 回	鉛筆淡彩④ 着色	鉛筆画の上に効果的に水彩絵具を重ねて描くことができる。	前回の続き	240 分
第 6 回	鉛筆淡彩⑤ 作品完成	鉛筆画の上に効果的に水彩絵具を重ねて作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 7 回	キュビズム的デッサン① 技法解説	画面を分解して再構成するキュビズム的デッサンの方法を知り説明することができる。	画集やネットを見てキュビズムの作品や作者について調べる。	240 分
第 8 回	キュビズム的デッサン② 対象物描写	対象物の形を正しく描写し、トリミングすることができる。	前回の続き	240 分
第 9 回	キュビズム的デッサン③ 画面分解	描写した画面を複数の線で分解することができる。	画集やネットを見てキュビズム作品の画面構成方法について調べる。	240 分
第 10 回	キュビズム的デッサン④ 画面構成	分解した画面をバランスや構成を見ながら再構成することができる。	前回の続き	240 分
第 11 回	キュビズム的デッサン⑤ 画面構成と明暗	分解した画面をバランスや構成、明暗を見ながら再構成することができる。	画集やネットを見てキュビズム作品の画面構成における色彩や明暗を分析し研究する。	240 分
第 12 回	キュビズム的デッサン⑥ 作品完成	バランスや構成、明暗を見ながら再構成し、作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 13 回	アクリル画制作① 技法解説	アクリル画の技法や特質を知り説明することができる。	画集やネットを見てアクリル画の材料や技法について調べる。	240 分
第 14 回	アクリル画制作② 対象物（風景）選定	アクリル画で描くことを想定して対象物を選定することができる。	前回の続き	240 分
第 15 回	アクリル画制作③ 下描き	キャンバスに正しく下書きを描くことができる。	画集やネットを見てアクリル画の作品や作者について調べる。	240 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 6 回	アクリル画制作④ 制作（描画）	アクリル絵の具の特性を利用して描くことができる。	前回の続き	240 分
第 1 7 回	アクリル画制作⑤ 制作（塗り重ね）	アクリル絵の具の特性を利用して描き塗り重ねることができる。	前回の続き	240 分
第 1 8 回	アクリル画制作⑥ 制作（画面バランス）	画面全体のバランスを見ながら描くことができる。	画集やネットを見てアクリル画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240 分
第 1 9 回	アクリル画制作⑦ 制作（完成への意識）	画面全体のバランスを見ながら完成を意識しながら描くことができる。	前回の続き	240 分
第 2 0 回	アクリル画制作⑧ 完成	画面全体のバランスを見ながら作品表現することができる。	前回の続き	240 分
第 2 1 回	油画制作① 技法解説	油画の技法や特質を知り説明することができる。	画集やネットを見て油画の材料や技法について調べる。	240 分
第 2 2 回	油画制作② 対象物（人物）選定	油画で描くことを想定して対象物を選定することができる。	前回の続き	240 分
第 2 3 回	油画制作③ 下描き	キャンバスに正しく下書きを描くことができる。	画集やネットを見て油画の作品や作者について調べる。	240 分
第 2 4 回	油画制作④ 制作（描画）	油絵の具の特性を利用して描くことができる。	前回の続き	240 分
第 2 5 回	油画制作⑤ 制作（描画塗り重ね）	油絵の具の特性を利用して描き塗り重ねることができる。	前回の続き	240 分
第 2 6 回	油画制作⑥ 制作（構成バランス）	画面全体の構成におけるバランスを見ながら描くことができる。	画集やネットを見て油画作品における技法の効果や表現方法について調べる。	240 分
第 2 7 回	油画制作⑦ 制作（明暗バランス）	画面全体の明暗におけるバランスを見ながら描くことができる。	前回の続き	240 分
第 2 8 回	油画制作⑧ 制作（完成への意識）	画面全体のバランスを見ながら完成を意識して描くことができる。	前回の続き	240 分
第 2 9 回	油画制作⑨ 作品完成	画面全体のバランスを見ながら作品表現することができる。	調べた油画作品と自分の作品を比較して、技法の効果や表現方法、今後の展開について研究する。	240 分
第 3 0 回	プレゼンテーション	平面造形演習で制作した作品をふり振り返り発表することにより、各材料や技法による表現の特性を理解し自己の作品を解説できる。	平面造形演習で制作した作品の振り返りとまとめ	240 分